



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「人類に奉仕するロータリー」 Rotary Serving Humanity

2016-17年度 RI会長／ジョン・ジャーム RID2590ガバナー／高良 明 横浜旭RC会長／青木 邦弘

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2後藤ビル2F/〒241-0821

TEL.045-365-3273/FAX.045-365-3132

E-mail:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて宮城復興米販売



第5回チャリティーコンサート



被災地の子ども達にクリスマスプレゼント

2016年10月5日 第2262回例会 VOL. 48 No. 13

■司 会 副SAA 内田 敏

■開会点鐘 会 長 青木 邦弘

■斉 唱 君が代、奉仕の理想

■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	25名
本日の出席率	92.59%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

安藤 (公)、佐藤 (真)

■10月誕生記念祝



安藤 達雄	会員	10.28
新川 尚	会員	10.15
鈴木 茂之	会員	10.25
滝澤 亮	会員	10.30
吉原 則光	会員	10.19

■会長報告

10月は「経済と地域社会の発展月間」と「米山月間」です。

地域の発展とロータリークラブの発展とは、密接な関係があり、地域の発展に寄与することが、我々ロータリークラブの発展に繋がるものである、とされています。

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。

「一か月のタバコ代を節約して、留学生支援に」というスローガンで1952年東京ロータリークラブで始められました。やがて日本の全クラブの事業に発展し、1967年文部省の許可を得て財団法人ロータリー米山奨学会となりました。民間では日本で一番の奨学金制度だと伺っています。

○クラブ関係

2017-18年度青少年交換留学生の応募が、県立旭高校からありました。

次週例会後に面談する予定です。

■社会奉仕委員会 二宮麻理子
旭ふれあい区民まつりのちらしが出来上がりました。会員皆様のご協力をお願い申し上げます。



■ニコニコ BOX(会員敬称略)

青木 邦弘／①ノーベル賞を大隅先生が受賞されました。②今日は後藤さんの遍歴です。よろしくお願いします。

北澤 正浩／後藤さん、卓話楽しみにしています。

吉原 則光／①今日は一寸涼しくなったところの例会日和になりました。②後藤さんの卓話いつもユーモラスで楽しんでいます。よろしくお願いします。③誕生日祝い有り難うございました。

滝澤 亮／①後藤さん、本日の卓話よろしくお願いします。②誕生日祝いをありがとうございます。

新川 尚／誕生日祝いを有難うございます。

後藤 英則／本日、職業卓話です。気合いを入れて頑張ります。

岡田 清七／後藤会員の卓話、私の食歴楽しみにしています。

田川 富男／後藤節をお願い致します。楽しみです。

内田 敏／後藤さん、本日の卓話よろしく申し上げます。楽しみにしています。

大川 伸一／後藤さん、本日の卓話楽しみにしております。よろしくお願いします。

齋藤 善孝／後藤さん、本日の卓話楽しみです。

二宮麻理子／後藤さん、本日の卓話とても楽しみです。

市川 慎二／①後藤さん、いつもの楽しい卓話宜しくお願い致します。②兵藤先生の本を購入いただきまして、皆様有難うございました。

本山 雄三／後藤さん、本日の卓話よろしく申し上げます。

兵藤 哲夫／①一言お礼を言わせて下さい！本のお買上げ有難うございます。10冊分ニコニコに入れます。②後藤さんの変歴、興味あります。楽しみです。

■職業卓話

「私の職歴」

後藤 英則



後藤の卓話と言うと 釣りの話か、落語とか漫才の芸能関係、はまたま「しもネタ」と期待？されるでしょうが、本日は職業卓話ですから真面目に気合いを入れて話します。

私の職歴と言う事ですから、お金を頂いた最初の仕事は、進路も決まり高校の入学式までの間、戸塚カントリーでキャディーのアルバイトでした。戸塚カントリーが出来てまだ5～6年のころだと思います。本職のキャディーさんが足りなかったのでしょうかね、特に土・日は人手不足で、カントリーに行けば

必ず仕事がありました。勿論平日も行きました。日給1,000円前後だったと思います。

中学生1年から卒業するまでハンドボールをしてましたので、体力には自信が有りましたから毎日のようにキャディーのアルバイトでした。バイト代の他にお客さんから「チップだよ」と100円札を一枚とか、ハーシーのチョコレートを頂けたのが、凄くうれしかったです。

その当時、もっと真剣にキャディーを務めていれば、今はもっとゴルフも上手くなってたと思いますね。キャディーで貯めたお金で欲しかったヤマハのウェスタンギターを買いました。

少し話はそれますが、高校に入学してハンドボール部に入部し、朝練・放課後の練習とクタクタになって励んでました。ポジションはゴールキーパーでした。

当時の鎌倉学園は県内でもそこそこ強いクラブでしたので練習はきつかったです。高校2年の県大会予選の時に、相手選手が飛び込んでシュートしたボールとゴールポストの間に右手を出してしまい右手親指第二関節を骨折、ギブスで固めてしまうと試合に出られないので、副木を当てテーピングだけして、かろうじてボールは握れましたので、その後の練習や試合にも出てました。診察の時に、お医者様からしっかり治さないといずれ関節が曲がらなくなると注意されましたが、若気の至りですね、大丈夫とたかをくくって運動してましたが、やはりお医者様の言う通り、今では右手親指の第二関節は曲がりませんし、左手と比べると完全に長さが違います。その後、またまた練習中に右手の小指第二関節の中間を骨折。とうとうボールが握れなくなり、残念ながら退部でした。

話はそれましたが、これからが本日の卓話の面白いところです。

高校のハンドボール部を退部して、放課後に何もすることがないので、ここからアルバイト人生の始りです。高校時代は、プラスチック成型した蛍光灯の傘のバリ取り、パン工場

で焼きあがったパンの袋詰め、鎌倉に有った学生会館の厨房で洗い場と調理助手と色々やりました。どうにか大学に入学しましたが、安保闘争真っ最中で講義は休講ばかり。やっぱり何もすることがないので、アルバイトとパチンコとマージャン生活、たまに旗やプラカードを持って御茶ノ水辺りで叫んではまたアルバイト。実にいろいろなアルバイトをしました。ここでどんなアルバイトをやったか、列举します。

まず、大船に有った工場でプラスチック成型した電気の傘のバリ取り、パンの袋詰め、食堂の厨房、和田町に有った酒問屋の品出し、本牧近くにあったごみ屋の建てば、回収された、鉄くず、雑貨、衣類、雑誌、等の選別。上大岡で宅地造成地のケンチ積み（飯場に住み込み）、上星川に有ったドラム缶運送のトラックの助手、平沼に有った建設会社の歩道橋の波板止め、横浜港ではしけの沖なか師、川崎の明治製糖で原糖のコンベア一流し、日ノ出町のストリップ劇場で楽屋の手伝い、野毛にあったラジオ関東の夜間掃除、西浅草でノコギリの目立てや刃物とぎの手伝い、この辺りから、肉体労働からやや怪しいアルバイトに傾き加減になりました。

この中で印象深いアルバイトの話をしただけします。

本牧近くに有ったゴミ屋の建てば(リヤカーで回収されたゴミくずの集積場と考えてください)切れた銅線やアルミの鍋、真鍮、等の金属から衣類、雑誌等々その中で銅線とかアルミ線、真鍮は古くなると黒ずんで種類が分からない為、切り口等をコンクリートにこすり一瞬で判断するのですが、その速さは親方から褒められるほどでした。選別して、貯まった銅線やアルミ製品を10日に一度くらい鉄くず屋へ売りに行くのですが、トラック一台はかなりの金額でした。帰りには必ず「旨いもの食って帰ろう」とステーキや鰻を親方にごちそうになりました。もっと良かったことは本牧のアメリカン住宅から出るゴミの中に洋楽のLPやマジックで黒く塗りつぶしてない本

場物の「プレイボーイ誌」が出てくるのです。当時もアメ横辺りに行けば、黒塗りしてない物も手に入りましたが、凄く高かった事を覚えています。そんなプレイボーイ誌を見れるのもこの上ない楽しみでしたし、仲間に格安で売りさばいて、小遣い稼ぎにもなりました。しかし、南京虫に食われたり、かゆくてたまらない経験もしましたね。南京虫にも食われなくなり、仕事にも慣れて大体の様子が分かり一人で仕事もこなせるようになったころ、親方から、やれ夕飯を食べてけとか、風呂に入っていけとか、色々と言われなんか変だなと思いはじめました。

そんなある日親方から、うちの婿さんになれと言われびっくりしました。親方の家は一人娘さんで私より一歳下、なかなか可愛い女性でしたが、私も長男なので婿さんに行く訳にもいかず断りましたが、このままここで働いていたら、間違いなく婿さんにされてしまいそうな勢いでしたので、この仕事は辞めました。

さらに、印象深いというか楽しかったアルバイトは日ノ出町のストリップ劇場の裏方の仕事。掃除をしたり、衣装の片づけをしたり雑用です。友人の親が劇場のオーナーでしたので、そんな関係から友人から頼まれました楽屋担当が踊り子さんと逃げてしまい、次の人が見つかるまで、少しの間楽屋担当やってくれないかと、ストリップ劇場の楽屋ですよ、二つ返事で引き受けました。当然、ストリップ劇場の楽屋ですから、踊り子さんたちはほぼ半裸状態の上にガウン等をはおってるだけ。最初は目のやり場に困りましたが、男の憧れ銭湯の番台と同じで、直ぐに見慣れ？てしまい、いや見て見ないふりしてました。

なかなか刺激的な環境でした。なにしろロハで見れるのですから。しかし殆どおばさん年齢の踊り子さんでした。ですが、踊り子さんは10日毎にローテーションで変わり、時々年齢が変わらないと思われる新人さんが楽屋に入ると、なんとなく意識してしまいましたよ。そんな楽屋の仕事でしたが、ストリップ

劇場で踊り子さんの出演がオフの時は、支配人に言われ、オフの踊り子さんと一緒に、熱海の温泉旅館に行き、お座敷ストリップの照明係をしてました。ラジカセから、ストリップでは超有名な「タブー」などを流し、簡単なライトに赤・ピンク・紫・青のセロハンを貼った照明器具で、踊り子さんのアソコを照らすのですが、酔客が相手ですから「もっとよく照らせとか、動かすのが早すぎるとか」罵声？を浴びられっぱなし、照明の当て方もテクニックが必要で、見えそうで見えないが、時々見えるという微妙な間合いがあつて、酔客を相手に楽しい仕事でした

ただ、ストリップが始まる前に、豊のこの線から絶対前には出ないで下さいと言っても、終演間近にはお客さんは必ずかぶりつき状態になりますよ。踊り子さんにチップをあげる時は、極々小さなパンティーに挟むのですが、その時間違いなくアンダーヘアーに触れるので、酔客は大喜びでした。結構なチップが挟まれますよ。私を含め、世の男性諸氏はみんな助平ですね。

こんな仕事をしてたら人生駄目になっちゃうと思い3ヶ月ちょっとで辞めました。ただストリップ劇場でアルバイトをしてたおかげで、支配人とも知合いですから、入場料はいつも半額で友人たちとよく見に行きました。

その友人の一人に工藤君が居まして、ある時でべそにかぶりつきで見てたら、いきなり鼻血を出してしまい、踊り子さんも他のお客さんも大笑いで、幕間のつまらないコントより余程面白かったです。今も仲間内では鼻血の工藤で通ってますよ。普段からよく鼻血を出す奴でした。未だに笑い話になってます。

本日は真面目な職業卓話にお付き合いいただきありがとうございます。この続きは、またの機会にお話しします。

■次週の卓話

10/19(水) クラブ協議会

ガバナー補佐訪問

週報担当 吉原 則光